

## ～ 事前にいただいた取り上げて欲しいテーマ一覧 ～

## ◇まちづくり協議会の課題について

- ・役員会⇄総務会⇄理事会⇄部会  
役員会と理事会、部会が離れており、それぞれの意見の疎通が難しい。  
会合の数が増え過ぎて対応が困難。
- ・「まちづくり行動計画」作成遅れ  
各役員の忙しさもあり、「まちづくり行動計画」作成に向けての時間が十分取れず、  
「行動計画企画シート作成」以降の検討が行われていない。事務局側のより一層のフォローを望みたい。
- ・まちづくり協議会が設立されて、新たな部会が出来、各種団体の会議と協議会の会議の回数が多くなった
- ・生涯学習の役員の位置づけ、組織の位置づけは？
- ・独自で活動していた団体について、まちづくり協議会への加入（組入）をお願いしているがまだまだ理解が得られない状況である。
- ・軌道に乗るには数年が必要と思われる。
- ・役員に現役で仕事をしている人が多い→人手不足
- ・その一方で役員の高齢化が進む
- ・新しい人材の発掘、育成が難しい
- ・まちづくり協議会の存在自体を住民があまり意識していない。
- ・役員の負担が大きい。
- ・新、旧年度交代時、各組織の委員、役員のまちづくり協議会に対する運営の理解をさせる事の難しさ。

## ◇まちづくり協議会によって改善された点について

- ・各種行事の取り組みにおいて、部会制が機能し始めた  
協議会の部会制の導入について、初年度（昨年度）は、部会制としての十分な動きが見られなかったが、2年目の今年は、部会を構成している各団体同士の連携及び協力体制が築かれつつあり、従来の生涯学習推進会の担当専門部だけに負荷がかかっていた取り組みが軽減されてきている。
- ・協議会全体の円滑な運営が図れつつある  
総務企画部門に、役員経験者等会務に精通する者で構成した総務会を追加したことにより、役員会での総務機能が明確化され且つ各部会との結びつきも強化され、協議会全体の円滑な運営が図れつつある。
- ・各団体単独で行っていた事業を協議会事業とすることで、今まで関わらなかった人とも関われるようになった。
- ・まちづくり協議会構成一覧を作成したことにより各組織が明確化されたこと。

## ◇各種意見

- ・補助金の一括支払いをしてください
- ・まちづくり協議会に現在、生涯学習推進会で行われている行事の大半を統一化しようと思  
います。今年度から行う予定ですが、助成金はどの様な形が出るのでしょうか。
- ・部会制に伴う予算配分等について  
→本日の議題において、現時点の市の補助金の検討状況をお伝えさせていただきました。  
今後、地区の皆様の意見を伺いながら詰めていきたいと思ひます。
- ・数年後には、体育祭・文化祭もまちづくり協議会で行うものと考えている。行政として、  
生涯学習推進会の有り方についてはっきりとした考え方を示してほしい。  
→地区によって様々な選択があるかと思ひますが、行政として、既存の任意団体に対して  
有り方を示すべきではないと考えています。
- ・協議会に福祉推進会、安協の分会等の団体を含むことは可能でしょうか？（助成金の問題  
で）  
→団体を含むことは可能です。助成金については、検討中であり現段階で変更の予定はあ  
りません。
- ・前回、名簿発行の話があったが、その後はどうなったのか？  
→後日、まちづくりセンターを通じて配布させていただきましたが、お手元に届かず、失  
礼いたしました。今回は、本日の資料として配布させていただきました。
- ・この種の会議は、One way でなく Two way であってほしい。  
→より情報交換ができるよう、これから、なるべく意見交換の時間をとりたいと思ひます。
- ・ボランティア活動で行っている「力こぶ増進計画」が負担や強制にならないよう、常に心  
配りをして推進する。
- ・全員参加による町内会づくりのために
  - (1) アパートオーナー、管理会社に対し、区に入るよう市として説明会を開催し指導  
する。(少数だからといって見逃すのはいいことではない) 広報がいかないの  
で、市の本針もいきわたらない。
  - (2) 区に家族名簿提出により、防災力のアップになる。
  - (3) 市全体として表札を出すよう PR 活動をしたらいかがでしょうか。
- ・空き家対策